

業務用用途

事前確認書 トライブリッド蓄電システム ESS-T1/T2 シリーズ(全負荷対応分電盤/特定負荷分電盤共通)

蓄電システムご購入前のご確認事項 <必ず確認欄に チェックをお願いします>

本システムをより快適にお使いいただくために、設置に関する事前確認事項をご精読ください。


該当の項目において、ご理解・ご承諾いただけない場合は、商品のご購入、設置ができません。(見守りサービスは任意)

<ニチコン蓄電システムをより深くご理解頂くための資料> ①ニチコン蓄電システムカタログ(https://www.nichicon.co.jp/products/ess/catalog_library.html)
②ニチコンホームページ(<http://www.nichicon.co.jp/products/ess/>)

確認事項	確認事項のご説明	確認欄
保証期間	本システムは[家庭用]として開発しております。従いまして家庭用以外のご利用では、保証期間は1年(リモコン含)となります。但し、弊社指定の要件を満たす同意書の提出、あるいは業務用延長保証サービス(有償)ご加入の場合は、家庭用モデル相当の保証期間(リモコンを含)となります。これら手続きは販売店へご相談ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
心臓ペースメーカー	ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)を使用している方は装置に触れたり、手の届く範囲に近づかないでください。ペースメーカーやICDが誤作動する可能性があります。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会作成の患者様向けパンフレットをご確認ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
ノイズ	製品や配線から発生する電氣的ノイズが近隣(目安として半径100m以内)のアマチュア無線やラジオ等の電波受信に影響を与えることがあり、近隣にアマチュア無線局等ある場合、購入される前に販売店へご相談ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
補助金	本システム購入にあたって、各種補助金を受給した場合は、保有期間が義務付けられる場合があります。保有義務期間満了前に機器の処分、譲渡を行うと、補助金の返納を求められることがあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
長期不使用	長期間ご使用にならないときは、取扱説明書に記載の「長期不在の場合」に従って適切に処置してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
点検コード放置	室内リモコンに点検コードが表示されている状態で放置しないこと。また蓄電システムブレーカ、契約ブレーカを2週間を超えて「切」の状態に放置すると蓄電池が過放電の状態となり、蓄電池交換(有償)となることがあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
メンテナンスモード	年に1回(6月)、蓄電池を点検するために、自動的にメンテナンスモードを実行します。メンテナンスモードの実行には、家電品の接続(100W以上)が必要です。家電品の接続がない環境では、メンテナンスモードが正常に終了しないため、必ず家電品(100W以上)に蓄電システムから電気を供給してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
非常時の運転	蓄電システムが停電運転、復電後の通常運転に切り替わる際に、数秒間電源が切れます。また家庭内の全負荷(特定負荷分電盤では、非常時兼用コンセント)は、停電時自動的に電気が供給されます。電熱器等、電源供給が自動復帰されることで災害時に火災発生のおそれがある機器類は、機器の動作仕様を確認し、電源が自動復帰されても安全な機器(動作状態がリセットさせるもの)をご利用ください。それ以外のご利用はお止めください。特にドライヤー等、メカニカルな電源スイッチのある電気機器は注意が必要です。センサー機能や調光機能がある照明は、停電時にちらつく場合や、動作しない場合があります。温水洗浄便座器で突入電流等により使用できない機種があります。(停電時出力については、自動切換以外に、リモコンにて手動切替の設定可能)	<input checked="" type="checkbox"/>
非常時の自立出力	蓄電システムの非常時の自立運転の定格出力は2.0kVAです。太陽光発電が3kW以上発電している場合は、3.0kVAまで出力できます。ただし自立運転の出力電力の一部は、家電製品には供給されませんので、実際に供給できる電力はさらに小さくなります。使える電力は約1500Wです。ポンプやモーター等、起動電力が大きいものも非常時兼用コンセントに繋ぐことはできません。	<input checked="" type="checkbox"/>
瞬断	非常時兼用コンセントに突入電流が大きい機器を接続すると、その機器の起動時に一瞬電源が切れる場合があります。デスクトップパソコンや録画機器等データの保存が必要な機器については、UPS(無停電電源)の接続を推奨しております。また、電源が切れてはならない医療機器等は絶対に非常時兼用コンセントに接続しないでください。	<input checked="" type="checkbox"/>
突入電流	掃除機、遠赤外線ヒーター等突入電流が大きい家電製品を非常時兼用コンセントに接続すると、正常に動作しない場合があります。非常時兼用コンセント以外に接続してご使用ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
充電不足	ご家庭の使用電力が大きいと、蓄電システムの充電電力が少なくなり、充電時間が延びたり、設定した時間内に所定量まで充電できない場合があります。その場合は契約電力を見直してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
停電時の起動	蓄電池ユニットがない場合あるいは蓄電池残量がない場合に、万一停電が発生した際、一度システムが停止しますので、V2Hスタンド付属のケーブルを利用して、手動での起動が必要になります。	<input checked="" type="checkbox"/>
2台以上の設置	各蓄電システムに対して系統を別けていただき、1系統あたり契約容量15kVA 75A以下に1台設置願います。蓄電池設備の規制に基づき消防法の届け出が必要です。電力申請は押上げ有契約となります。	<input checked="" type="checkbox"/>
動作音	パワーコンディショナ及びV2Hスタンドは動作時に音が発生します。設置場所によっては、うるさく感じられる場合がありますので、気にならない場所への設置をお勧めします。	<input checked="" type="checkbox"/>
重塩害地域	重塩害地域、沖縄・離島への設置はできません。(裏面参照)	<input checked="" type="checkbox"/>
太陽光との接続	併設可能な太陽光はESS-T1,T2の太陽光設備容量との合算で、最大14kWとなっております。また併設した太陽光の自立出力をESS-Tに接続できる太陽光パワーコンディショナの機種は限られますので、販売会社にご相談ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
エネファーム	エネファームは、非常時兼用コンセントには接続できません。また、非常時兼用コンセントに接続しない場合も、接続可能機種が限られますので、販売会社にご相談ください。逆流設定のエネファームは併設できません。	<input checked="" type="checkbox"/>
エコキュート	エコキュートは、非常時兼用コンセントにて使用する場合は、オプションのトランスを非常時回路に付けて200V対応後ご使用ください。エコキュートは消費電力が大きいため、非常時兼用回路に接続する場合、停電時に電池容量が急減したり、過負荷で停止する場合がありますので、ご使用には十分ご注意ください。また通常時にエコキュートが稼働する深夜帯などで、蓄電池の充電時間と重なって、充電に時間がかかったり、または満充電にならない場合もあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
蓄電システム及びV2Hスタンド放電中の買電	蓄電池を利用した放電中でも、電力会社から0.1kW前後の買電が発生します。①蓄電池を利用した放電中は、電力会社との取り決めにより、わずかに電力を買電しています。②放電開始時にご家庭内の消費電力が65W以下の場合、放電を開始できません。③放電中にご家庭内の消費電力が30W以下になった場合は放電を停止し、65W以上になると放電を再開します。V2Hスタンドも同様です。	<input checked="" type="checkbox"/>
設置環境	直射日光が当たる場所には設置できません。オプションの日除け板(別売)を取り付けることで、設置できる場合があります。また設置スペースなど他にも弊社で定めた設置環境への注意事項がございます。詳細はホームページ(ユーザーサポート 個人のお客様 ④その他の情報 蓄電システム設置条件)にてご確認ください。 https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01	<input checked="" type="checkbox"/>
故障時の損失	万一、本システムの故障に起因し、もしくは関連して発生したお客様の損失(電気、水道、ガス代等)に関わる費用は、保証期間内/外を問わずお客様負担となります。	<input checked="" type="checkbox"/>

V2H スタンドを設置しない場合は、※印の項目はご確認の必要はございません。

V2Hスタンドも設置の場合	V2H スタンドの車両への充電動作 ※	V2H スタンドに引き込める電力は最大5.9kW ですが、通常時(連系時)であっても、非常時兼用コンセントに接続の電気製品の消費電力が大きい場合、車両への充電電力が2kW 前後に制限される場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
	充放電コネクタの車輛への接続 ※	V2Hスタンドの充放電コネクタを車両に接続している間は通電状態となり、車両の蓄電池を消費します。消費を抑えたいときには、充放電コネクタを車両から取り外してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	太陽光余剰電力を用いて車両への充電 ※	太陽光余剰電力を用いて車両に充電するモードの場合は、満充電できません。また同モード動作中に放電する場合は、車両ごとに定められた放電可能下限値まで放電することはできません。	<input checked="" type="checkbox"/>
	メンテナンスモード時の車両への充電 ※	メンテナンスモードの蓄電池への充電動作が終了するまでは、車両への充電はできません。メンテナンスモード運転前にタイマー動作設定されていれば、メンテナンスモードの蓄電池側への充電動作終了後、自動的に車両への充電を行います。タイマー動作設定されていない場合でも、手動の充電を設定することで、同様に充電することができます。充電完了後、メンテナンスモードの放電動作を行います。	<input checked="" type="checkbox"/>
	雨や雪での使用 ※	雨や雪の中でも使えますが、感電や漏電の恐れがあるので、濡れた手でコネクタに触れたり、抜き挿しすることはいけません。コネクタが濡れているときは、充放電していない時に布などで水分を拭きとってから操作してください。但し暴風雨や豪雪のときは、充放電しないでください。冬季には充放電コネクタ部が凍結し、「充放電コネクタが抜けにくい」ことがあります。その場合は、ぬるま湯をかける、もしくはドライヤーなどで解凍してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	i-MiEV ※	MiEV シリーズの給電に関しては、お使いの家電製品の合計負荷が軽負荷(約200W 以下)で、その負荷状態で約15分が経過すると、車両側からの指示で、給電が停止する場合があります。その場合自動的に復帰を行います。電力の使用状況が変わらない場合、停止致します。	<input checked="" type="checkbox"/>
	日産車以外 ※	日産自動車以外の EV/PHEV の場合、満充電状態まで充電した直後に給電を開始した場合、車両側から給電を中断することがあります。一度充放電コネクタの抜き差しを行ってから再度、給電操作を行ってください。	<input checked="" type="checkbox"/>
V2H スタンド対応車種 ※	【日産自動車】リーフ、リーフ e+、e-NV200、アリア、サクラ 【トヨタ】プリウス PHV、bZ4X 【三菱自動車工業】i-MiEV、ミニキャブミーパン、ミニキャブミーブトラック、アウトランダーPHEV、eKクロス EV、エクリプスクロス PHEV 【SUBARU】SOLTERRA 【BYD】ATTO 3 (2023年2月7日時点)	<input checked="" type="checkbox"/>	

蓄電システムの見守りサービスに関するご承諾および SII 補助金申請について		承諾欄
<p>お客様が長期にわたって安心してご利用いただけるように、インターネット経由で蓄電システムの運転状態を無償でモニターする「見守りサービス」を提供しています。業務用用途でご使用の場合で延長保証を申し込む場合は「見守りサービス」ご加入が必須となります。承諾欄に印をつけてください。承諾いただけない場合は延長保証の対象となりません。ご了承ください。ニチコンオーナーズ倶楽部(会員登録:無料、各サービス:無料)webサイト:https://owners.nichicon.co.jp/ QRコードでも簡単にアクセス可能です⇒ 見守りサービスのメリットは、蓄電システムの①エラー発生状況、②充放電時間・量などの運転情報を深夜時間帯に自動収集し、運転をモニターする他、③機器のソフトウェアの更新、④太陽光出力制御要請が発生した場合の自動対応、⑤将来ネットワーク経由で提供される新サービスなどへの対応の可能性があります。※インターネットへの接続方法は工事業者にご依頼願います。 ※通信料はお客様負担となります。SII 補助金(ZEH など)を受給する場合、製品同梱の保証書以外に、SII への提出資料として、システム保証書と出荷証明書が必要となります。上記の「オーナーズ倶楽部 Web サイト」で会員登録した上で、必要事項を記入の上、お申し込みいただければ、ニチコンから郵送いたします。</p>		<p>必須</p>  <input checked="" type="checkbox"/>

販売店様/施工店様へご協力をお願い

本事前確認書と一緒にご提出いただく設置完了報告書にてシリアル番号をお知らせいただいた時点で、見守りサービスが開始されます。

本事前確認書と併せて、設置完了報告書の原本をニチコン(下記送付先)へ提出願います。

- ※1.離島:本土から離れ、四方を海で囲まれている島で内海に浮かぶ島は除く
- ※2.内海:瀬戸内海(領海法、紀伊水道を除く)
東京湾(観音崎と富津岬を結んだ線の北側海域)
伊勢湾(答志島と伊良湖岬を結んだ線の北側海域で三河湾を除く)
- ※3.外海:内海以外の海

塩害の影響による設置可否について

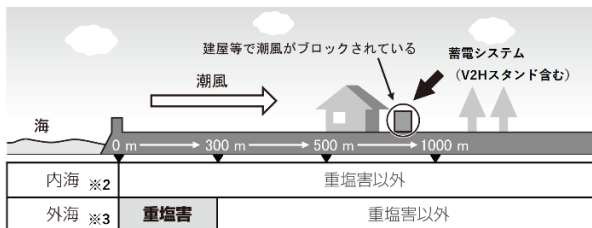
トライブリッド蓄電システム(V2H スタンド含む)が設置可能な場所を下表のように定めています。
“沖縄・離島(※1)以外の地域、かつ、重塩害以外の場所”であれば設置可能です。

	沖縄・離島	沖縄・離島以外の地域
重塩害	×	×
重塩害以外	×	○

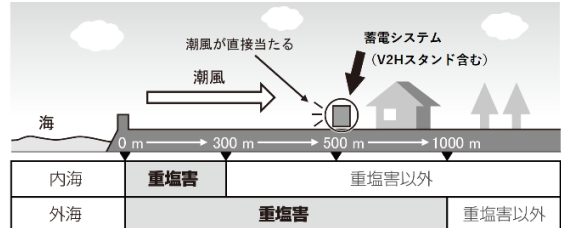
- :設置可
- ×:設置不可

詳細はコチラ ⇒ <https://www.nichicon.co.jp/products/ess/qa/juengai.html>

●直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場合



●直接潮風が当たる場所



お客様の同意確認

本事前確認書の内容を理解し承諾します。 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ※見守りサービスは承諾欄に チェックを入れた方のみ対象となります。

フリガナ	電話番号	—	—
お名前	印	ご住所	〒
販売店様	ご担当者様	電話番号	—

(送付先) 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 14-9 ニチコン株式会社 電源センター 蓄電システムサービス部

※署名、捺印いただいた原紙をお送りください。

お客様の個人情報は、商品に係る情報提供やアフターサービスを行うことを目的とし、お客様の同意なしに業務委託先及び関係先以外の第三者へ開示・提供することはありません。

本事前確認書の内容は予告なく変更する場合があります。